

笑顔かがやく光っ子

みんなで育てる光っ子

学校便り

第289号
平成23年12月1日

練馬区立光が丘第八小学校
校長 鈴木 隆志

音の心・心の音

校長 鈴木 隆志

11月18日（金）19日（土）に、スマイルコンサート（音楽会）が行われました。あいにくの雨模様になりましたが、たくさんの保護者の方々、地域の方々に御参観いただき、盛大に行うことができました。光っ子たちへの励ましの拍手や声援に、感謝申し上げます。ありがとうございました。

音の心 ……旋律（メロディー）の中にも、一つの音符の中にも、意味があり、心があります。
心の音 ……一人一人が自分の「思い」「役割」「責任」を、音に乗せて歌い奏でます。

光っ子たちのスマイルコンサートでは、「音の心」を感じての歌や合奏が体育館いっぱいに響き、一人一人の「心の音」が合わさり、気持ちも一つになって、一つの楽曲になって、素敵な音楽表現が聴いている人たちの心にも、いっぱいに広がっていきました。

スマイルコンサートのスローガンは「♪心をひとつに みんなでつくろう 八小の音楽♪」です。そのスローガンにぴったりの全校合唱『音楽のおくりもの』（作詞／名村 宏）の歌詞を紹介します。

♪この歌に希望をのせて／いつもの仲間と輪になろう／この歌はこだまのように／どこかでやさしい風になる／
夢広がる よろこびがあるから／歌声はいつの日も心つなぐよ／音楽は みんなの心ひとつにするのさ♪
♪この歌にリボンをかけて／世界の仲間にとどけよう／この歌はとおくにひびき／どこかでやさしい花になる／
夢広がる しあわせがあるから／歌声は時をこえ言葉をこえる／ぼくたちの 心をむすぶ 音楽のおくりもの♪

スマイルコンサートは、この歌で幕を開けました。続いて、PTA合唱団による『ハナミズキ』と『上を向いて歩こう』です。東日本大震災による被災者の皆様へのお見舞いと復興への思いを込めた楽曲です。2年生は『友達になった日』『幸せのリズム』『山の音楽家』の3曲です。仲良く幸せにという気持ちをたっぷりと表現できました。1年生は音楽物語『エルマーの冒険』です。笑顔と元気いっぱいの歌声から楽しさが伝わってきました。1・2年生合同の『ドレミのうた』も上手でした。わかば学級は、それぞれの学年でも活躍していましたが、わかばっ子たち全員で『ぼくらのマーチ』を歌いました。大きな声で、リズムに乗って、わかばっ子たちのパワーあふれる表現ができました。

3年生は『世界がひとつになるまで』『Keep Smiling!』『地平線』『PANIC』の4曲です。歌唱もリコーダー奏も、気持ちが一つになって表現できました。4年生は『スキンプルシャクス』を伸び伸びと歌い上げ、『アンダー・ザ・シー』では映画の場面を思いうかべるような演奏でした。3・4年生合同のボディパーカッション『キッズ・ウェーブ』も、とても素敵な表現になりました。

5年生の『シーラカンスをとりにいこう』『風になりたい』は、歌詞の楽しさ、リズムの楽しさを体いっぱいに表現することができました。6年生の『かならずかならず』『負けないで』は、東日本大震災の復興応援ソングでもあります。見事なハーモニーで6年生全員の思いを伝えていきました。最後は5・6年生合同の『君の笑顔が好きだから』の合唱です。温かな歌声で会場が包まれました。

「♪心をひとつに みんなでつくろう 八小の音楽♪」のスローガンどおりのスマイルコンサートになりました。音楽は、うれしい気持ちや楽しい気持ちにしてくれたり、心を明るくしてくれたりする力をもっています。音楽は、つらいときや悲しいときでも、励ましてくれたり、勇気や希望を与えてくれたり、私たちの背中を押してくれたりする力をもっています。音楽によって、心が癒されたり、なごまされたり、心が洗われたりもします。音楽が私たちの支えとなり、力が湧いてくることだってあります。音楽によって、お互いがつながり合って、仲良くなってもいきます。音楽で、笑ったり、泣いたり、熱く燃えたり、言いたいことが言えたり、いろいろなイメージを膨らませたりすることができるのです。そんな音楽の力がいっぱいにあふれた、素敵なスマイルコンサートでした。